



国立大学法人

熊本大学



# 財務状況について

# 財務状況について



国立大学は、平成16年度に国立大学法人へと変わり、一般の株式会社と同様に財務状況を表す書類を作成するようになりました。

国立大学法人は、主たる業務内容が教育・研究であることから、一般の株式会社と違い、利益を追求しない法人です。

このため、国立大学法人会計基準という固有の会計処理ルールでの作成が義務づけられ、全国の国立大学法人において統一的な取扱いを行っています。

財務状況を表す書類は、一般の株式会社と同じように「貸借対照表」や「損益計算書」があります。

財務諸表等は、**大学の1年間の活動を数値化**したもので、大学のホームページでも公表していますが、一般の株式会社と同様に官報にも公表されています。

# 貸借対照表 (BS) について



- ✓ 貸借対照表は、期末時（3月31日）における**財政状態**（資産・負債・純資産）を明らかにしたものです。
- ✓ バランスシート（BS）とも呼ばれ、左側の借方（資産）と右側の貸方（負債・純資産）の金額が一致しています。

＜ 資 産 ＞ 元手の資金をどのようなモノ（形）で運用しているかを示しています。		＜ 負債・純資産 ＞ 元手の資金をどのような方法で集めているかを示しています。	
		[2023.3.31]	(単位：百万円)
<b>&lt;資産の部&gt;</b>	<b>129,737</b>	<b>&lt;負債の部&gt;</b>	<b>36,833</b>
土地	45,496	長期借入金等	16,874
建物・構築物	40,950	運営費交付金債務	449
機械装置・工具器具	7,443	寄附金債務	6,172
その他有形固定資産	4,258	未払金	6,242
無形固定資産	309	その他負債	7,092
その他の固定資産	5,209	<b>&lt;純資産の部&gt;</b>	<b>92,904</b>
現金及び預金	15,995	資本金	66,912
未収附属病院収入	6,721	資本剰余金	586
その他流動資産	3,352	利益剰余金	25,405
<b>資産合計</b>	<b>129,737</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>129,737</b>

総資産1,297億円のうち土地建物及び機械等で約8割を占めています。

法人化以前の借入金も含めた大学病院の再開発に伴う借入償還額です。

出資にあたる資本金は土地や建物など法人化した際に国から引き継いだものです。

(注) 金額は単位未満切り捨てしており、計は必ずしも一致しない。

# 損益計算書 (P/L) について



- ✓ 損益計算書は、一事業期間（4月1日～3月31日）における業務を実施するために要した「費用」とそれらに対応する「収益」を示し**収支状況**を明らかにしたものです。
- ✓ プロフィット&ロス・ステイトメント（Profit & Loss statement）を略して（P/L）とも呼ばれています。

＜費用＞ どのような費用（支出）に使ったのか を示しています。		＜収益＞ どのような収益（収入）があったのか を示しています。	
[2022.4.1～2023.3.31]		(単位：百万円)	
＜経常費用＞	60,108	＜経常収益＞	63,780
教育研究経費	5,716	運営費交付金収益	13,820
診療経費	22,076	授業料等収益	5,776
教育研究支援経費	539	附属病院収益	34,355
受託研究費等	3,834	受託研究収益等	3,925
人件費	26,464	補助金等収益	2,776
一般管理費	1,383	寄附金収益	1,987
その他費用	91	その他収益	1,138
＜経常利益＞	3,671	＜臨時利益＞	10,148
＜臨時損失＞	25	＜目的積立金取崩＞	508
<b>当期総利益</b>	<b>14,303</b>		

学生・生徒への教育に関する費用及び教員等の研究活動に関する費用です。

法人全体の管理運営を行うために要した費用です。

収益から費用を差し引いた利益で、一部は次年度以降に教育研究設備の更新等に充てています。

国から交付される運営費交付金及び授業料等の学生納付金は、収入の約3割を占めています。

企業等からの外部資金です。

(注) 金額は単位未満切り捨てしており、計は必ずしも一致しない。



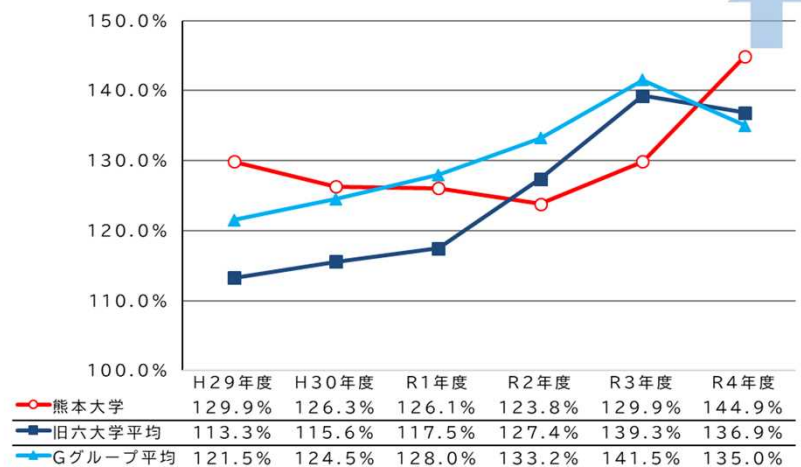
# 財務分析（財務指標の推移）



※グラフ中の↑↓は、数値が大きい（小さい）方が望ましいことを示します。

## 財務の健全性（安全性）

流動比率



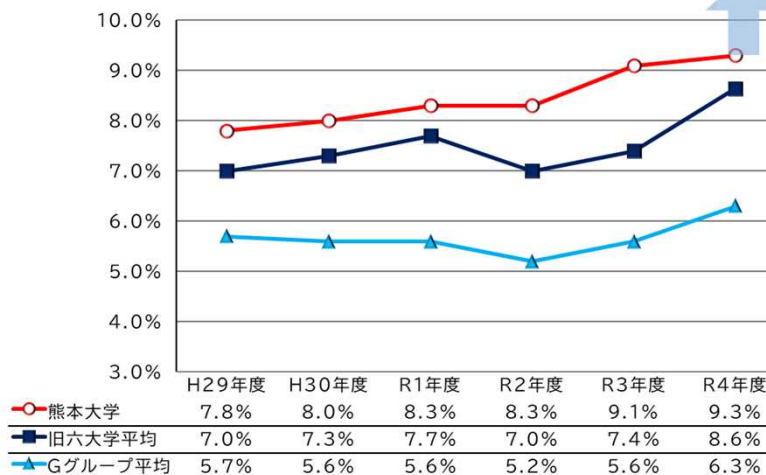
### 流動資産÷流動負債

令和3年度に比べ、流動資産は未収入金の増に伴い増加し、流動負債は3月末の未払金の減に伴い減少したことから、比率は上昇しました。同規模大学等より高い比率となっています。

- \* 流動資産・・・現金・預金、未収金等
- \* 流動負債・・・未払金、1年以内返済予定借入金等

## 発展性

外部資金比率



### 外部資金収益÷経常収益

令和3年度に比べ、外部資金収益は会計基準改訂に伴う寄附金収益の増に伴い増加したことから、比率は上昇しました。同規模大学等より高い比率を保っています。

- \* 外部資金収益は、受託研究収益、共同研究収益、受託事業等収益、寄附金収益の合計で、科学研究費は含んでいません。

### 旧六大学

旧官立の医科大学を前身とする、以下の6大学

千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学

### Gグループ

医科系学部その他の学部で構成され、学生収容定員1万人未満、あるいは学部等数が概ね10学部未満の、以下の24大学

弘前大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、三重大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

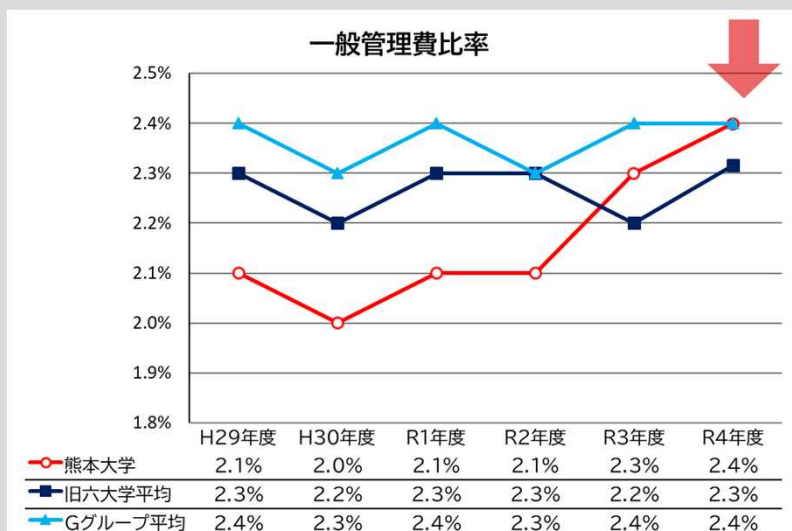
※Gグループとは、文部科学省において公表している「国立大学法人の財務分析上の分類」でのグループ

# 財務分析（財務指標の推移）



※グラフ中の↑ ↓は、数値が大きい(小さい)方が望ましいことを示します。

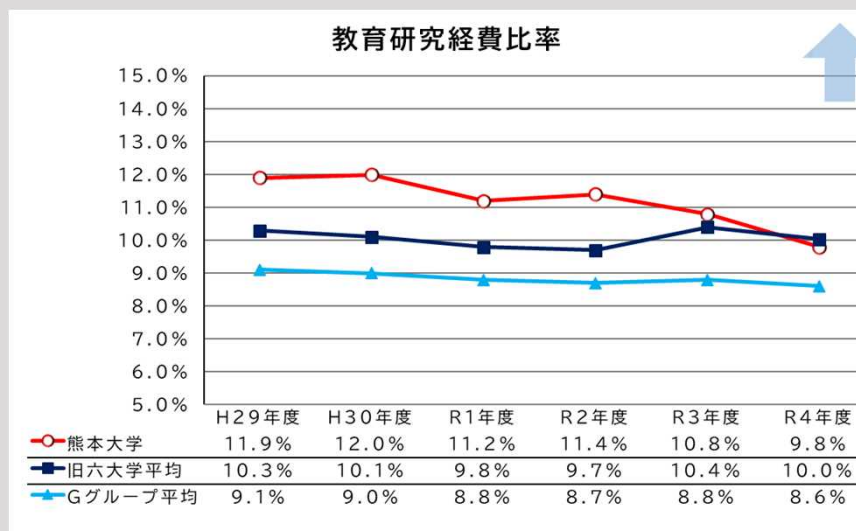
## 効率性



### 一般管理費 ÷ 業務費

令和3年度に比べ、一般管理費は業務委託費の増に伴い増加したことから、比率は上昇しました。同規模大学等と同程度の比率となっています。

## 活動性



### (教育経費 + 研究経費) ÷ 業務費

教育と研究は密接不可分であり、それぞれの経費区分は各大学で異なるため、教育と研究を一体として捉えると、旧六大学と同程度、同規模大学より高い比率の活動性となっています。



### 旧六大学

旧官立の医科大学を前身とする、以下の6大学

千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学

### Gグループ

医科系学部その他の学部で構成され、学生収容定員1万人未満、あるいは学部等数が概ね10学部未満の、以下の24大学

弘前大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、三重大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

※Gグループとは、文部科学省において公表している「国立大学法人の財務分析上の分類」でのグループ



## <参考>

収入・支出の規模からすると、熊本県内での市町村では**熊本市**、**八代市**に次いで**3番目の天草市**（約**605億円**）と同じぐらいです。

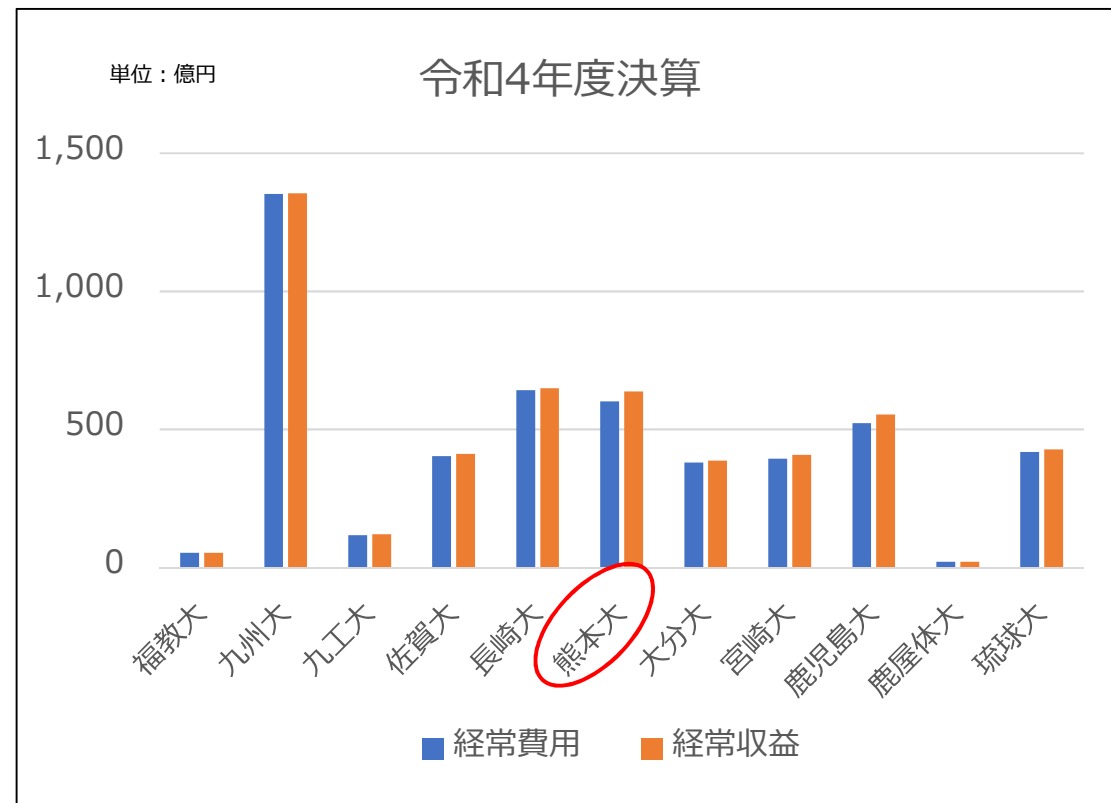
企業で考えると、県内では有数の事業体です。

九州にある国立大学では、九州大学・長崎大学に次いで、**3番目の規模**です。

令和4年度  
天草市一般会計歳入歳出決算書

歳入合計	64,684,547,814円
歳出合計	60,553,081,223円
歳入歳出差引残額	4,131,466,591円
うち翌年度へ繰越すべき財源	344,339,243円

天草市ホームページより  
<https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji0039858/index.html>





熊本大学の財務状況のホームページは下記のとおりです

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/zaimu/zaimu>

問い合わせについて

財務部財務課 (096) 342-3266・3159

